

平成23年10月14日

「新連携計画」の認定について

関東経済産業局は、10月14日付けで「中小企業新事業活動促進法」に基づき、新たに2件の「新連携計画（異分野連携新事業分野開拓計画）」の認定を行った。

今回の認定により、平成17年4月の同法施行以降、関東経済産業局管内の認定件数は183件となった。

※管内：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡の1都10県

1. 平成23年3月末までに認定を行った新連携計画の事業化状況を調査したところ181件中、128件が販売を達成し、販売達成金額は累計で約287億円に達するなど、着実に成果が現れつつある（平成23年3月末時点）。
2. 今回認定を行った2件についても、引き続きビジネス実務に精通した専門家等により構成される新連携支援関東戦略会議事務局（中小企業基盤整備機構）の「個別支援チーム」が事業化までのフォローアップを実施する。
3. 現在、新連携支援関東戦略会議事務局には新連携に係る相談が多数あり、専門家がブラッシュアップを実施中。当局としては、こうしたビジネスプランの中から、新連携認定審査委員会において評価された事業性の高い新連携計画を引き続き認定していく予定。

（本発表資料のお問い合わせ先）

関東経済産業局地域経済部新規事業課

担当者：金丸、松田、松本、大岩

電話：048-600-0394（直通）

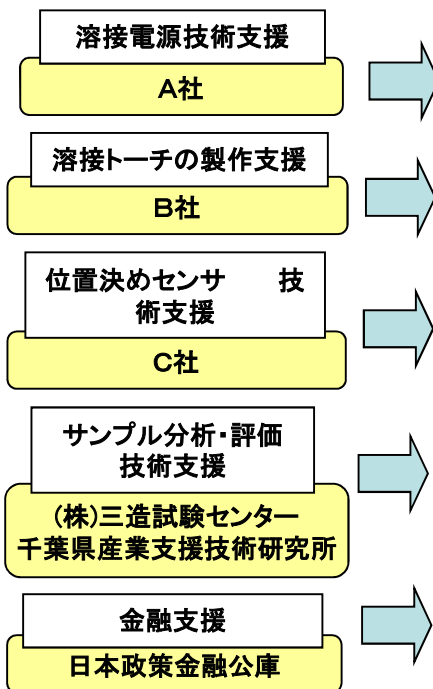
地域	千葉県市原市	認定日	平成23年10月14日	3-23-187
事業分類	製造(金属製品)	テーマ分類	基盤技術	

事業名：新プラズマ溶接によるアルミニウム製タンクの事業化

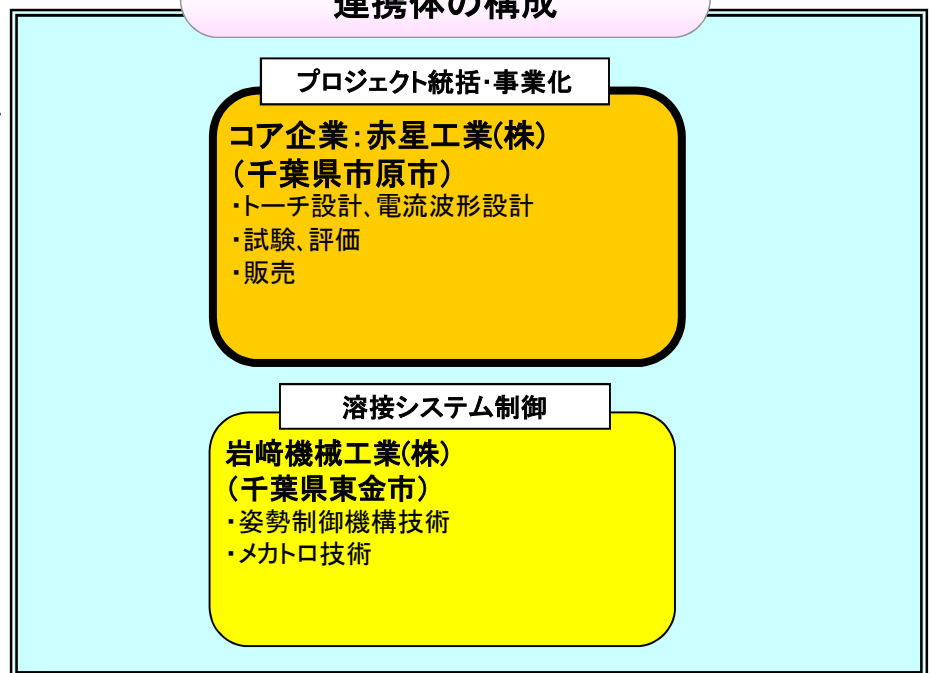
○事業概要(新規性、市場性等)

- ・アルミニウムは重量に比し強度が強く、導電性でありながら非磁性などの特徴があり、船舶などの物流機器、窓などの建築設備、電力設備や化学プラント等に広く使われている。
- ・貯槽、塔、圧力容器等で使用するアルミニウムの中・厚板を溶接する場合、材料同士の開先加工が必要となり、溶接棒を使用して開先部を埋めた溶接を行う為コスト高という難点があった。
- ・コア企業の赤星工業(株)は大阪大学や(株)ダイヘンと産学連携で、中・厚板用の溶接装置で、前処理が不要、開先加工不要、1回の溶接で接合できる新プラズマ溶接(新型溶接電源、トーチ、溶接姿勢制御)を研究開発してきた。
- ・連携企業の岩崎機械工業(株)と連携して溶接姿勢制御ロボットの実用化により、安価でしかも高品質な新プラズマ溶接方法を実現し、事業化の見通しを得た。

事業推進体制

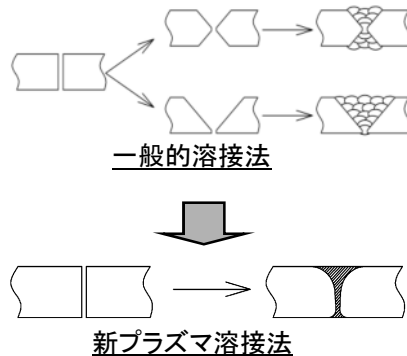


連携体の構成



支援予定メニュー

- ①補助金
- ②信用保証
- ③低利融資



溶接接合



アルミニウム製ガス絶縁開閉装置

地域	東京都足立区	認定日	平成23年10月14日	3-21-188
事業分類	建設	テーマ分類	防災・防犯	

事業名： 都市部対応型マンホール浮上防止技術の開発及び事業化

○事業概要(新規性、市場性等)

・災害時におけるマンホールの浮上は住民生活や道路交通に多大な影響を与え復興の妨げとなる為対策が急務であるが、都市部においては浅い位置にて埋設された各企業者地下埋設物の影響により従来技術では対策不可能であった。

・そこで地下埋設物に影響されない浅い位置、マンホール上部周囲のみ(掘削深 23 cm ~ 43cm・掘削範囲円形Φ160cm)でのマンホール浮上抑制技術(加重工法)を実現。

・東信工業(株)をコア企業とし、三倉工業(株)、(有)大功建総の3社にて連携体を構築、簡易で安価な上、省スペース・短時間・騒音の軽減までも可能にした為、官公庁の耐震事業にて有効活用され広く展開されていくと思われる。

事業推進体制

解析・評価支援

C社

普及支援

工法協会

販売支援

A社
B社

金融支援

東京東信用金庫

支援予定メニュー

- ①補助金
- ②信用保証
- ③低利融資

連携体の構成

プロジェクト統括・事業化

コア企業: 東信工業(株)
(東京都足立区)

- ・プロジェクト推進
- ・試験、評価
- ・販売

切断技術

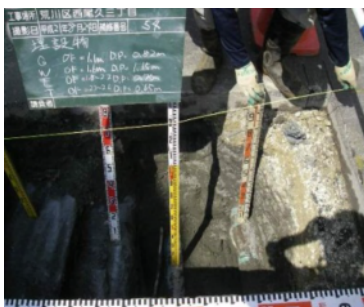
三倉工業(株)
(東京都板橋区)

- ・マンホール上部切断施工技術

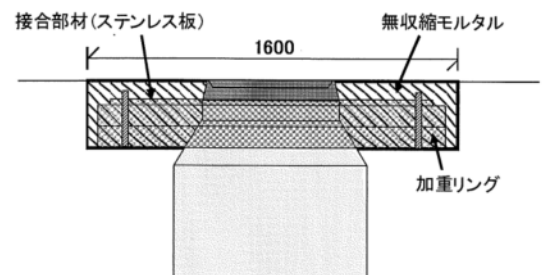
加重技術

(有)大功建総
(東京都練馬区)

- ・加重技術
- ・部品開発



都市部の地下埋設状況



本方式の構造図

【認定計画（2件）の事業概要】

事業テーマ【コア企業】	① 連携体の特徴 ②事業の特徴 ③支援金融機関等
<p>新プラズマ溶接によるアルミニウム製タンクの事業化</p> <p>【赤星工業(株) (千葉県市原市)】</p>	<p>①非鉄金属の溶接技術と溶接構造物の開発・設計・製造を得意とするコア企業と、姿勢制御技術メーカーによる2者連携。</p> <p>②アルミニウムは重量に比し強度が強い等の特徴があるため、船舶などの物流機器等に広く使われているが、その溶接には、いくつもの加工工程が必要であることから、高コストとなっており、歪みなど品質上の問題も抱えている。 本事業ではこれを解決するため、新プラズマ溶接方法を開発し、変電所や化学プラント等向けの安価で高品質なアルミニウム製タンクの事業化を目指す。</p> <p>③日本政策金融公庫</p>
<p>都市部対応型マンホール浮上防止技術の開発及び事業化</p> <p>【東信工業(株) (東京都足立区)】</p>	<p>①東京都で数多くの水道・下水道をはじめとする維持管理業務の経験が豊富なコア企業と、同社のパートナーであり、マンホール上部切断技術や加重技術を有する連携企業との3社連携。</p> <p>②大規模震災におけるマンホールの浮上に対する対策は急務であるが、都市部では地下に埋設物がひしめき合っている等の理由により対策が難しい状況となっている。 本事業ではこれを解決するため、省スペースで施工可能で、騒音振動も大幅に改善できる「都市部での施工」に適したマンホール浮上防止技術を開発し、事業化を目指す。</p> <p>③ 東京東信用金庫</p>

【関東経済産業局管内 都県別(コア企業所在地別) 認定計画件数】 (件)

茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	山梨	長野	静岡	合計
7	4	13	11	11	70	10	10	8	6	33	183

(平成23年10月14日現在)

【関東経済産業局管内 認定計画事業化状況】 (千円、件)

認定件数	販売達成件数	販売達成金額	平均販売達成金額	その他商談まで進んでいる件数
181	128	28,761,009	224,695	11

(平成23年3月末時点：中小企業庁調べ)